

第624回番組審議会報告

2018年1月9日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長 佐藤友美子副委員長 今井美樹委員
太平信恵委員 津村記久子委員 中野健二郎委員
東野博昭委員 細見良行委員 丸山雅也委員

■毎日放送出席者

三村社長 梅本専務 木田常務 浜田取締役 宮田取締役
藪内東京制作室長 長富プロデューサー
大牟田コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長

◆議事の概要

- 1) 年頭社長挨拶
に続いて、
- 2) 審議事項

テレビ番組『所さんお届けモノです!』

(2017年10月15日(日) 17:00~17:30放送)

について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

*全国各地から様々なお届けモノがスタジオに持ち込まれる番組で、今回は“こだわりの専門店”をテーマに、“焼き芋専門店”と“地図専門店”からのお届けモノが紹介された。所ジョージというパーソナリティが前に出ているので、安心して見ていただける。日曜の夕方は、こんな番組が一番いいように思う。

*こだわりの地図が作られる過程など、丁寧な取材ぶりに好感を持った。

*所さんのように、番組のタイトルに名前を冠してアピールできる人は限られている。さんまさんやタモリさん等、いつまでこうした方々に頼って番組がつくられていくのかしらとも思う。

- * 番組開始時から「日曜の夕方5時に所さんか」という点で興味を持ち、注目していたが、毎回、何か消化不良。「面白い番組だ」という強烈さがない。プレゼンテーションの弱さか。自信作が届くのだから、「どうぞ、これを見て下さい!」とお届けモノの良さを伝える人が横にいてほしい。
- * どの視聴者層をターゲットにしているのか分からない、不思議な番組。
- * 全国ネット番組とはいえ、せつかく毎日放送が制作しているのだから、関西の匂いをもうちよっとさせられないものかなと思う。
- * お金を出したら買える商品の紹介が多いというイメージがある。そうすると例えば今回取材されたお芋屋さんとか地図屋さんはスポンサーみたいな感じで、お金をいただいているのかなと、そういう穿った見方もされそう。
- * 「お届けモノ」は所さんが楽しむのか、それとも視聴者の人たちが楽しむのか。所さんの反応には彼独特のキャラクターがあり、そこを売りにしているのか、コンテンツの中身の面白さ、こういうものがあるよというのを売りにしているのか、そこがちょっとわかりにくい。
- * 番組の冒頭、こだわりの専門店がたくさん紹介され、その一覧がとても面白かった。お得感もあり、ちよつとずつでいいので全て紹介して欲しかった。
- * ゲストがひとり出ていたが、番組内でのゲストの立ち位置がよくわからなかった。
- * 日曜の夕方5時と言うと、月曜に学校や会社に行きたくない人がたぶん見ている。自分としても、すごく嫌な時間帯。何も求めてない、心が動くこととかを求めてない時間帯なので、この番組は本当にいいと思う。憂鬱な時間帯向けという意味では優秀な番組だ。
- * 3年ぐらい前からこだわりが強過ぎる所さんがしんどくなっていた。昔は楽に見られたのに、今は何かしんどい。自分が年をとったのかもしれないが、この番組の所さんはすごく楽に見られた。

- *今回、焼き芋と地図という、全く趣きが違う二つのテーマがあった。
30分の番組にテーマを二つ入れるのがいいのかどうか。どっちつかずで、テーマを絞ってはっきりしたほうが見やすい。

【番組制作者側の説明、質問への回答】

- *取材先からお金はもらうことは絶対にない。そうでないと、自由に編集できなくなるから。今回のテーマの地図専門店の「鳥瞰地図」等も購入したものの。
- *番組のターゲットは、委員の方の指摘通り、日曜なので月曜から会社に行きたくない、あまり刺激は欲しくないぐらいの人達。年代でターゲットを区切ってという番組づくりはしていない。
- *地図だけで30分やる等、将来的にはワンテーマで番組作りをする方向に行きたいと思っている。まだ視聴者が積極的にこの番組を見たいところまで定着していないので、今のところ複数のテーマをやっている状況。
- *司会者のタレントが固定していること、大阪の局制作なのに関西色があまりないこと等、その通りで、私達が乗り越えていかなければいけない問題だと思っている。

以上